

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年2月18日(2010.2.18)

【公開番号】特開2008-237820(P2008-237820A)

【公開日】平成20年10月9日(2008.10.9)

【年通号数】公開・登録公報2008-040

【出願番号】特願2007-86513(P2007-86513)

【国際特許分類】

A 6 1 H 7/00 (2006.01)

A 6 1 H 15/00 (2006.01)

A 4 7 C 7/62 (2006.01)

【F I】

A 6 1 H 7/00 3 2 2 D

A 6 1 H 15/00 3 5 0 E

A 4 7 C 7/62

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月28日(2009.12.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被施療者の腰掛ける座部と、該座部後端に配備された背凭れ部と、を具え、背凭れ部には、被施療者の背中をマッサージする左右対の施療用エアバッグを配備した椅子型マッサージ機において、

背凭れ部には、被施療者の頭部が当接する部位の左右に、膨張することで頭部を挟み込む頭部保持用エアバッグを配備しており、

該頭部保持用エアバッグを膨張させて、被施療者の頭部を挟み込んだ状態で、背凭れ部の施療用エアバッグを交互に膨張することで、被施療者の上半身に捻りマッサージを施すことを特徴とする椅子型マッサージ機。

【請求項2】

背凭れ部に配置された左右の施療用エアバッグは、背凭れ部の上側の間隔が広く、下側に向かうほど間隔が狭くなるように、V字状に配置される請求項1に記載の椅子型マッサージ機。

【請求項3】

背凭れ部に配置された左右の施療用エアバッグ間に、中央エアバッグを配備した請求項1又は請求項2に記載の椅子型マッサージ機。

【請求項4】

前記中央エアバッグを膨張させた状態で、左右の施療用エアバッグを交互に膨張させる  
ことを特徴とする請求項3に記載の椅子型マッサージ機。